

令和 7 年度
災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型
仕 様 書

湖北地域消防組合

第1章 総則

1 目的

この仕様書は、湖北地域消防組合（以下「本組合」という。）が令和7年度に購入する災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（以下「本車両」という。）の仕様について必要な事項を定め、製作に関する一切に適用する。

2 概要

- (1) 本車両は、あらゆる消防活動に使用することを目的とし、車体は、ダブルキャブオーバー型の四輪駆動方式、消防車専用シャシ（5.5 t級シャシ増トン仕様）、A-2級消防ポンプ、1,500 L水槽、圧縮空気泡消火装置を装備し、河川、消火栓等の水利より強力な放水を行うことが出来るものとする。また、油類消火装置は500 Lの原液槽を設け、水と原液の混合にはポンププロポーショナーを用い、発泡管そうにより消火用泡を放射できるものとする。
- (2) 配置場所および車両名称
配置場所 湖北地域消防本部長浜消防署（長浜市平方町1135番地）
車両名称 長浜化学車
- (3) 本車両の製作は、本仕様書および承認図（契約後、受注者側で作成するもの。）によるほか、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号、以下「要綱」という。）および関係法令に従うこと。
- (4) 本車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）および道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）、排出ガス規制に係る全国の都道府県条例に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- (5) 本車両の製作にあたっては、消防用車両の安全基準を満足し、製造工場においては品質環境管理システムによって製造が行われていること。
- (6) 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不審な点は本組合と協議して十分に熟知した上で契約すること。なお、契約後の一切の疑義は本組合の指示に従うこと。
- (7) 受注者は契約後、契約後の製作にあたり本仕様書の詳細について本組合担当員と打合せを行い、製作承認図、製作工程表等を組合に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- (8) 受注者は、製作にあたり本仕様書および承認図に変更を必要とするとき、また、疑義が生じたときは、直ちに本組合に連絡の上、承認または指示を受けた後、速やかに変更承認図を提出し、承認を得ること。
- (9) 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施するとともに、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合または、車両納入までに発生したいかなる事故に対しても、その責任を負うこと。

3 提出書類

受注者は、下記の書類を製本提出し、車両製作の承認を受けること。

(1) 承認図書

① 製作承認図書一式 (A4ファイル)

- ア 艀装5面図
- イ 艀装骨組み図
- ウ ハイルーフキャブ内艀装図 (コンソール図面含む)
- エ 配管系統図
- オ 動力伝達要領図
- カ 電気配線図
- キ 諸元明細書
- ク 艀装材料明細書
- ケ 水槽図面
- コ 原液槽図面
- サ その他必要書類

② 製作工程表 (納車までの日程含む)

③ 契約金額明細書

④ その他本組合が指示するもの

(2) 完成図書

受注者は、車両納入時に下記の書類を製本し提出すること。

① 完成図書一式 (A4ファイル)

- ア 車両および艀装5面図
- イ 自動車検査証の写し ※車両登録後直ちに本組合にデータ送付すること。
- ウ 本車両カラー写真 (前後左右上部) ※車両登録後直ちに本組合にデータ送付すること。
- エ 工程写真 (製作中および作業工程)
- オ ポンプ性能試験成績表
- カ 受託試験合格および安全基準適合プレートの写し
- キ 圧縮空気泡消火システム性能評定試験合格プレートの写し
- ク 車輛安定傾斜角度測定表
- ケ 計量証明書
- コ 登坂走行検査証明書
- サ 悪路走行検査証明書
- シ 改造自動車等審査結果通知書写し

② 各種保証書 (A4ファイリングしたもの)

③ 取扱説明書等

- ア 自動車および装備品の取扱説明書
- イ 積載資機材の取扱説明書一式

ウ ポンプ取扱説明書

エ パーツリスト

オ 整備点検要領書

- ④ 納品書（契約金額内訳明細書含む）
- ⑤ 車両保証期間2年を証明する保証書
- ⑥ その他本組合が指示するもの

4 検査

受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。

（1）中間検査

本組合が適当と判断する時期に、本仕様書、製作承認図書、要綱および事前協議事項に基づき、艀装状況の確認、是正に係る指示、協議のため本組合担当者が受注者の製作工場に出向し検査する。

（2）完成検査（納入検収）

道路運送車両法および道路運送の保安基準等関係法令に係る検査に合格適合し、消防自動車としての承認が得られた後、車両の外観、保安装置、装備品、積載品等の機能および積載状況等について、本組合担当者が納入場所において検査を行う。なお、完成検査はすべての工程が完了した時点とし、納入期限までに補修または調整できる余裕日数を考慮すること。

（3）その他

製作途中において検査する必要がある場合は、上記以外に検査を実施することがある。

5 登録手続き等

（1）登録費用

本車両の製作から納入までの諸手続きは受注者の責任において行うものとし、車両登録に係る一切の費用は受注者が負担するものとする。ただし、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料および自動車リサイクル料は、別に本組合が負担する。

（2）既存車両の対応（廃車等）

本車両納入後、既存車両の廃車手続き（永久抹消登録）は受注者の責任において行い、廃車に係る諸費用についても受注者が負担するものとする。永久抹消登録証明書の発行については、相当期間を要することが思慮されるため、一時抹消手続きを行った後、永久抹消手続きを行うものとし、「一時抹消登録証明書」および「永久抹消登録を後日速やかに行う旨を記した書類」の提出をもって納品検収を行うものとする。なお、永久抹消登録が完了次第、速やかに永久抹消登録証明書および解体状況写真を当組合へ提出すること。

6 納入期限等

（1）納入期限 令和8年3月23日（月）

（2）納入場所 湖北地域消防本部長浜消防署（長浜市平方町1135番地）

（3）その他

- ① 納入にあたり、新規検査および新規登録を受けた後、燃料満量のうえ納入すること。

② 本組合が指定する日時、場所において本車両および資機材の取扱説明を行うこと。

7 保証等

保証期間は、納入後2年間とし、この間における故障等については、受注者が無償で交換または修理を行うこと。ただし、シャシについては、この期間のほか車両製造会社（以下「製造者」という。）が公表する保証期間とすること。なお、保証期間を問わず、設計、製作、材質不良等に起因する不都合個所が発生したときは、理由書を添え報告し、早急に受注者の責任において同様の措置を行うこと。

第2章 規格および仕様

1 シャシ仕様

本車両に使用するシャシは、令和7年式で自動車メーカーが消防ポンプ自動車専用と公表した最新の排ガス規制に適合し、かつ、消防検定合格エンジンを搭載した5.5t級ダブルキャブオーバー型シャシ（増トン仕様）とし、圧縮空気泡消火装置を装備、また油類消火装置は500Lの原液槽を設け、水と原液の混合にはポンププロポーションナーを用い、発泡管そうにより消火用泡を放射できるものとする。シャシの主要諸元は、次のとおりとする。

- (1) 型式 5.5t級消防車専用ダブルキャブオーバー型シャシ（ハイルーフ、低床式、増トン仕様）
- (2) 車両サイズは以下のとおり。
 - ① 全 長：7,500mm以下
 - ② 全 幅：2,400mm以下
 - ③ 全 高：3,250mm以下
 - ④ ホイールベース：3,700mm以上～4,000mm以下
 - ⑤ 車 両 総 重 量：12,000kg未満（車検時は軸重最大値とする。）
- (3) 乗車定員：6人（前席2名、後席4名）
- (4) エンジン：水冷式ディーゼルエンジンで、排気量が5,000cc以上、消防検定出力を満たし、最新の排ガス規制に適合しているもの。
- (5) トランスミッション：マニュアルミッション
- (6) 走行装置：4輪駆動方式パワーステアリング
- (7) タイヤおよびホイール：シャシ標準サイズのスタッドレスタイヤとし、リアはダブルタイヤとする。
また、ホイールについてはアルミホイール（ハブ・ナットカバー付）とすること。
- (8) 燃料タンク容量：100L以上とする。
- (9) キャブチルト装置：電動油圧装置とする。なお、エンジンオイルレベルゲージは、キャブチルトすることなく点検ができるものとする。
- (10) 動力伝達装置：フルパワーPTO方式
- (11) フロントグリル、左右ミラーステイはメッキとする。

(12) リーフスプリング：バネ常数の高い強化スプリング

フロントサスペンション：強化型、Wショック、スタビライザー付

リヤサスペンション：強化型

2 装備取付け品および付属品

(1) バッテリー：積載可能な最大容量のもの（145G51以上・スライド引出式） 一式

(2) バッテリー充電管理器：バッテリー全自動管理器本体を車載し、外部AC100Vとコンセントマグネット式コードで接続して車両のバッテリー充電ができること。（コンセントマグネット式20mコード1本付）

(3) インバーター：DC-AC1,500W程度 一式

(4) オルタネーター：24V-90A以上（消防仕様） 一式

(5) オイルパンヒーター：（消防車用・バッテリー充電管理器と兼用構造） 一式

(6) 水タンクヒーター：外部AC100Vとコンセントマグネット式コードで接続できること。（コンセントマグネット式20mコード1本付）

(7) ABS装置：車両純正品 一式

(8) 左電動格納式ミラー：車両純正品（熱線付） 一式

(9) 助手席補助ミラー：車両純正品 一式

(10) エアコン：車両純正品 一式

(11) 各種灯火類

① ヘッドランプ：LED式 一式

② フォグランプ：LED式 一式

③ バックランプ：LED式 左右各1個 一式

④ エンジンルームランプ：LED式 一式

⑤ 車両サイドウインカー：左右各1個 一式

(12) 各種計器類

① エンジン回転計 一式

② 油温計 一式

③ アワーメーター 一式

④ 電流計 一式

⑤ 電圧計 一式

(13) パワーウインド（全窓） 一式

(14) 後退警報機：ブザーは車両付属、合成音声はサイレン拡声装置使用 一式

(15) 坂道発進補助装置 一式

(16) サンバイザー：車両純正品（運転席および助手席） 一式

(17) サイドバイザー：キャブ各ドア上部（ステンレス製） 一式

(18) 集中ドアロック：車両純正品（キーレスエントリー付） 一式

(19) GPSナビゲーションシステム（VICSWIDE付き） 一式

① モニターは、TFTカラー液晶（7インチ以上）とし、ダッシュコンソールボックス内に埋め込み、後退時バックカメラと連動すること。

② ラジオ機能を有すること（TVチューナー機能は有さないこと）。

(20) 後方確認装置：カラーバックカメラ（バックミラータイプモニター連動手動切替可） 一式

(21) 後部側面車幅灯：マーカーランプ左右各1個 一式

(22) 路肩灯 一式

(23) ETC車載器（セットアップ費用含む） 一式

(24) ドライブレコーダー：メーカー推奨 SDカード2枚付属 一式

GPSを搭載し、ハイビジョン画質で常時録画のメモリーカード付きで、LED信号機に対応していること。取付け位置はフロントガラス上部に体裁よく取付けること。

(25) バックトーク 一式

車体後方スピーカーおよびマイクの位置は体裁よく取付けること。（詳細は別途協議）。

(26) シヤシ付属品

① マッドガード（樹脂製）：全輪 一式

② ナンバーフレーム：前後（ステンレス製） 一式

③ フロアマット：全席 一式

④ オイルジャッキ：車両純正品 一式

⑤ タイヤチェーン：シングル用 ケーブルタイプ 一式

⑥ ブースターケーブル（収納袋付） 一式

⑦ 三角停止表示板 一式

⑧ 非常用信号灯 一式

⑨ 予備ヒューズ 一式

⑩ 車両標準工具：専用収納箱付

⑪ スペアキー 3個

⑫ その他別表に定めるもの

(27) この仕様書において、指定した以外の装備については、消防シャシとしてメーカーが公表した標準取付け品を装備すること。

第3章 艀装の仕様

1 キャブ艀装

(1) キャブの構造は、シャシ固有の鋼板製およびCFRP製（カーボンファイバー）のダブルキャブでチルト部は必要により補強し、電動油圧チルト装置および落下防止の支え棒等を設けること。エンジンルームには点検灯を設け、入切スイッチを取付けること。

- (2) キャブ上部は静止荷重300kg、動荷重150kgを有するアルミ縞板張り落としこみルーフデッキとし、ルーフデッキ上を照射するLED照明灯を2個取付けること。またルーフデッキには許容荷重50kgのステンレス製支点リングを6個設けること（詳細は別途協議）。
- (3) キャブ上部左右にキャブ一体埋込式の散光式赤色警光灯を取付けること。なお、車両側方および前方一帯を照射できる配置とすること（詳細は別途協議）。
- (4) キャブ前方に拡声装置付電子サイレン用スピーカーおよびモーターサイレンを埋込一体型にて取付け、前方音量を確保しながら車内への音量を大幅に削減する対策をしてスピーカーを設置すること（詳細は別途協議）。
- (5) キャブ上部左右にLED標識灯および標識灯付近にLED作業灯を埋込式又は平面取付けにて設けること（詳細は別途協議）。
- (6) キャブ左右側面にキャブ一体のキャブバックパネルを垂直に立上げ加工し、シートライザーの純正位置から更に後方移動を可能とし、キャブ内後部席スペースが広く取れるようにすること。また足元のスペースは560mm以上を確保すること。
- (7) 車両前部に、牽引用ステンレス製フック（取り外し可能なシャックルタイプ）を2個取付けるとともに、許容荷重を明示すること。また、フロントバンパー上部の足掛け部は、縞鋼板で補強すること（詳細は別途協議）。
- (8) キャブ前面のフロントガラス上方および下方に清掃作業のためのグリップを設けること。
- (9) キャブは4ドア式ダブルシートとし、乗降用アウターグリップはステンレス製とすること。また、各ドアのキャッチ部には再帰性反射テープ等を貼り付けること。
- (10) 各乗降用ステップには傷防止用アルミ縞板を設け、夜間でも安全に乗降しやすいようにドアの開閉と連動し点灯および消灯する照明灯（LED灯）を設けること。また、リアステップはキャビン一体型のスカートステップで、車体フレームと乗降用ステップの間に間仕切り板を設け、足踏み部分はグレーチングタイプとすること。
- (11) 右側サイドステップを延長し昇降ステップ後方に小物収納庫を設けること。また、左側同部は、スライド式バッテリー収納庫（扉式）を設け、容易にバッテリーが引き出せる構造とすること。
- (12) 前席中央部に小物等が収納できるセンターコンソールボックスを設け、USBコンセント2口、100Vコンセント2口、電子サイレンアンプ、10連スイッチボックスの各スイッチ類（自光変色型押しボタン型）、各メインスイッチ、確認灯、無線機およびAVM装置本体等の電装品関係を取付け、各部に名板を付すこと。
- (13) 前部席の背もたれ裏側にポケット式の収納スペースを設けること。
- (14) 前部席天井部左右に極力大きなネットシェルフを設けること。
- (15) キャブ内中央部分（コンソールボックス後部）にステンレス製の手摺棒（直径40mm程度）を設け、地図などが収納できるボックス（A3サイズ）1台と拡声器収納庫、可動式フックを8個以上取付けること。また手摺下部には上半面パンチングメタルを取付けること。

- (16) 運転席および助手席間の上部には渡り棚を設けること。なおコンソールの底は二重底とし、パンチングメタルを貼り付けること。
- (17) 後部席の床面から天井までの高さ（床から天井内装材の内法）は1800mm程度を確保し、起立状態で呼吸器の脱着ができるようにすること。また後部席上部の前後およびオーバーヘッドコンソール上部に簡易的に開閉可能な蓋付き物入れボックス（前方:約1650mm×600mm、後方:約1650mm×300mm、オーバーヘッドコンソール上部約1640mm×350mm）を取付け、後部席ボックスはパンチングメタル、オーバーヘッドコンソール上部は二重底とすること。ボックスは着座時、立位時の何れでも支障のないものとする（詳細は別途協議）。
- (18) 前部席および後部席天井に埋め込み式室内灯（LED灯）を設け、運転操作時に支障とならないよう措置を講じること。なおスイッチは3段切替式（ON・OFF・ドア連動）とすること。
- (19) 助手席は、埋め込みシートを設け、空気呼吸器（4.7リットルボンベ取付け「以下省略」）を内蔵できるワンタッチ式クイックホルダー埋め込み型とし、背もたれカバーを設けて汚染防止処置を施したシートカバーを取付けること。
- (20) 後部座席および空気呼吸器取付け
- 後部座席は2分割折り畳み式座席シート（跳ね上げ式）とし、背当てシートは背凭れカット型でシート後方に空気呼吸器ワンタッチ式クイックホルダー（面体フック付き）を4基設けること。また、後部座席下部は底にウレタンを敷いた資機材収納ボックスとし、左右両面に扉を設けること。（詳細は別途協議）。
- (21) キャブ内全座席は汚染防止のため超防汚シート張りとする。
- (22) 各装備品の電気配線は内張りを通すものとし、キャブ貫通部は、雨水等の浸入を防ぐ構造とする。また、天井部の電装品および各種配線の取付け箇所は、点検が容易にできる構造とすること。
- (23) オーバーヘッドコンソール上部ボックス下に強力ライト2個と固定装置を設けること。
- (24) 助手席ピラーおよび後部左右にフレキシブルマップランプ（LED）を各1個取付けること。
- (25) 運転席ピラーに電子サイレンアンプと連動したフレキシブルマイクを設けること。また、フレキシブルマイクのスイッチは、運転者が容易に操作できる場所とし、運転に支障をきたすような場所を避けること。
- (26) バッテリーメインスイッチを設け、艀装関係の電源も対応すること。なお、AVM装置および無線器の電源についても同様とする。
- (27) キャビン内後部座席付近に100Vコンセント2口設けること。
- (28) 消防マークを円形台座付きで車両前面中央に隙間の無い形で取付けること。

2 本体艀装

- (1) 本体艀装は、JIS（産業標準化法（昭和24年法律第185号）第20条第1項の日本産業規格をいう。）G3101（一般構造用圧延鋼材）又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用

するとともに、総合的な重量軽減を図り、車体重量のバランス配分を考慮して製作すること。

- (2) 艀装材料の厚さは、要綱に適合するものであること。ホースの結合用ネジ部は、消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令（平成25年総務省令第23号）の規定に適合し、保護枠、計器盤、蝶番、手摺、その他の金属の露出部分および外部に取付けるボルト・ナット類は、全てステンレス製とすること。
- (3) 車体側板は一般構造用圧延鋼材（S S）を使用し、周辺を外側に折曲げ加工し、ビスおよびネジ等の突起物についても安全加工を施すこと。各ステップはアルミ縞板にて端部周辺を折曲げ加工した構造とする。また、キャブの各ステップおよび乗降時等、塗装面の損傷が予想される部分にアルミ製保護板を張ること。
- (4) 車両の重要な点検箇所および主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口または点検扉を設けること。また、本体艀装で水のたまる恐れがある個所に水抜き穴を設けること。
- (5) 車体天板部は、アルミ縞板張りとし、段差のないフラットな構造で、四方には頑強なステンレス製1段手摺を取付けること。また、車体後部の両側250mm程度側板を立ち上げること。側板には、赤色点滅灯および作業灯（LED灯）を埋め込むこと。
- (6) 車体側面は、左右各3枚および後面シャッター1枚で雨水等が浸入しない構造のオールシャッター式とすること。
- (7) シャッターは手動式バーリフト型アルミシャッターとし、ローラー方式で任意の位置で停止できること。また、引き降ろしベルトを取付け、手動シャッターを閉めた状態で挟まらない措置を講じること。
- (8) 左前部シャッター内はポンプ室（計器、放水・中継口等）とし、吸水コックを設け、吸水管を収納し、かつ、ポンプ機関操作が容易にできる構造とすること。また、壁面にステンレス製の吸管ガイドを設置し、容易に吸管操作ができる構造とし、吸管スパナ（左右）を固定して取付けること。なお、吸水管には着脱式ちりよけ籠（ワンタッチストレーナー）が取付けられる消火栓媒介金具を装着し、ワンタッチストレーナーを収納庫内に固定すること。
- (9) 右前部シャッター内は、同じくポンプ室（計器、放水・中継口等）とし、吸水コックを設け、吸水管を収納し、かつ、ポンプ機関操作が容易にできる構造とすること。また、壁面にステンレス製の吸管ガイドを設置し、容易に吸管操作ができる構造とし、冷却水ストレーナー用スパナを固定して取付けること。なお、吸水管には着脱式ちりよけ籠（ワンタッチストレーナー）が取付けられる消火栓媒介金具を装着し、ワンタッチストレーナーを収納庫内に固定すること。
- (10) ポンプ室の両側板は、密閉構造とすることとし、室外側の収納庫は、可能な限り奥行きを大きく取ること。
- (11) ポンプ室下部左右に速消ボックスとして65mmホース2本以上が収納できるボックスを各1個設ける。なお、扉は展開式ステップ（チェーンレス）として使用できる構造とし、ステップはアルミ縞板張り、側面には反射テープ等を貼り付けること。

なお、採用車両の規格により、同ボックスが艤装困難である場合は、本組合と協議すること。

- (12) 両側中央シャッター内は、消火資機材収納庫とし、65mm・50mmホースバック、65mm・50mm二重巻ホース等を収納することができ、取出しおよび積載作業が容易にできる構造の収納棚を2段に分けて設けること。左側中央シャッターには分岐管、右側中央シャッター内にはA火災用泡消火薬剤1本が固定できるよう固定装置を設けること。また、ボックス内には、ボルト等により、容易に取付け位置が変更できる棚を設けるとともに、資機材の固定が容易にできるように、パンチングメタルおよび固定ベルトを取付けること。(詳細は別途協議。)

(13) タイヤハウスステップ

資機材の取出しを容易にするため、タイヤハウス兼用の可倒式ステップ(チェーンレス)を設け、ステップはアルミ縞板張りとし、夜間開放時確認できる蛍光反射テープを側面に貼付すること。また、タイヤハウス内にシャシに固定したアンカーフック(回転リング式)を取付けること。

- (14) 左後部シャッター内は上部の空間に収納棚を設け、吸管枕木およびホースブリッジを2組収納できる構造とすること。また、展開式収納棚を設け、手前に地下式消火栓スピンドル(FHバー)、金てこ、貯水槽開閉金具、地上式消火栓スピンドル、平バー、弁慶(大)、グレーチング金具、ボルトクリッパーおよびスタンドパイプを取付けること。奥には無反動ノズル(65mm)、発泡筒先(400型)2本を取付けられるよう固定装置を設けること。(詳細は別途協議。)

- (15) 右後部シャッター内は資機材格納庫とし、積載資機材の収納、取り出しに便利な展開棚を設け、次の資機材が収納できるよう配置すること。(詳細は別途協議。)

- ① 上段は、電動油圧救助器具(コンビツール)および機械工具一式を専用ボックスにて固定収納すること。
- ② 中段は、エンジンカッターおよび燃料携行缶(コンビ缶)を固定収納すること。
- ③ 下段は、投光器、発電機、コードリール、三脚を専用ボックスにて固定収納すること。

- (16) 左右後部シャッター下部には、扉を設け下方に開くものとともに、ガスショック等を設け、スムーズに開閉できるものとし、また、扉が展開した状態でステップとして使用するための補強を行うこと。ステップはアルミ縞板張りとし、タイヤハウスの上程の切り込みはできる限り長くとり、体裁良くまとめるとともに、展開時の側面には蛍光反射テープで夜間危害防止用の措置を講ずること。なお、前(11)の速消ボックスが車両構造上設けられない場合は、この場所を速消ボックスとすること。

- (17) 車体後部は、シャッター式収納スペースを設け、内部に軽量タイプ65mmホース8本積載用加納式ホースカー(上部に資機材積載用の枠および固定ベルトを設ける。)を電動油圧昇降装置にて取付ける。なお、加納式ホースカーには50mm管そう(無反動ノズル)、特殊ノズル(クワドラノズル)各1本、オスオス・メスメス媒介金具および分岐管を取付けられるよう固定装置を設けること。

- (18) 車体後部シャッター内は、ホースカーの奥に収納庫(棚)を設け、次の資機材を収納配置すること。

- ① 上段は、空気ボンベ(4.7L)5本収納用ボンベラックおよび伸縮式カラーコーンを固定積載

し、棚の下面には指揮テーブルを専用棚（ボックス）を設けて収納すること。

- ② 下段および収納庫壁面に、掛矢、斧、ハンマー、剣先スコップ、消火器 2 本を固定（落下防止措置）して積載または取付けること。

- (19) 車体後部右側に車体上部へ昇降するため外付け型展開式アルミ製の昇降用はしごを取付けること。

なお、昇降時の保護工作を行い、容易に昇降できるよう車体上部に昇降用手摺を設けること。

- (20) 積載はしご昇降装置

車体上部左側に手動ワンタッチロック式はしご昇降装置を設け、三連はしごおよび鳶口 2 本を積載固定すること。また、はしごと接触する部分はステンレス材を使用し、運転席で状態が確認できる装置を設けること。

- (21) 車体上部収納ボックス

車体上部右端に取り外し可能な大容量アルミ縞板ボックスを 1 個設けること。

- (22) ポンプ室前面両側に昇降用折りたたみ式ステップを取付けること。

- (23) キャビンと荷台部の間の両側に、車止め各 2 個を固定して取付けること。

- (24) ポンプ室上部両側板に無線機車外送話器、AVM 端末装置を収納するボックス（蓋なし）および車外用スピーカーを設置できるようスペースを設けること。また、車外スピーカー切替スイッチをキャビン内に設けること。各取付け位置については、本組合と協議すること。

- (25) 車両後部に牽引用フック（外れ止め付き）を取付けること。

- (26) 燃料タンクはシャシ固有の位置に取付けるものとする。また、燃料給油口は容易に給油できる位置に取付けること。

- (27) 各タイヤ後部にマッドガード（樹脂製）を設けること。

- (28) 赤色警光灯および赤色点滅灯

- ① ハイルーフキャブに形成した大型散光式赤色警光灯（LEDフラッシュ内蔵）を設けること。

- ② 赤色点滅灯（LED灯）をキャブ前部に 2 個、フロントバンパー両側コーナー部に各 1 個、両側上部側板に各 2 個、車体後部に 2 個（保護枠付き）取付け、散光式赤色警光灯と連動するようにすること。

- (29) 電子（電動）サイレン

- ① 電子サイレンアンプとマイクは、前席中央部のセンターコンソールボックスに取付けること。また、サイレンアンプを有効に照らすための照明灯を取付けること。

- ② サイレンスピーカーは、散光式赤色警光灯と一体のものとする。

- ③ サイレン吹鳴時には全ての散光式赤色警光灯、LED灯と連動すること。

- ④ 音声合成装置は、右左折時と渋滞時（後方から接近時等）とし、右左折時は方向指示器と連動すること。また、消防広報用メッセージ内蔵とし、メッセージ内容は本組合と協議すること。

- (30) モーターサイレン

モーターサイレンは、散光式赤色警光灯内蔵型またはバンパー下部に設置し、スイッチはプッシュボタン式とし、キャブ艤装関係スイッチと後席の前方手摺の 2 箇所に設けること。

(31) 照明装置

- ① 回転伸縮自在型（リモコン・ラジコン式）のLED照明灯（90w相当×4灯）を車体上部後方に取付けること。
- ② 照明灯には単独回路のスイッチを設け、スイッチ付近に記名した名板を設けること。

(32) 作業灯

車両側面および後方を照射できるLED作業灯を両側上部側板に各3灯、後部に2灯（保護枠付き）取付けるものとし、単独回路のスイッチを設け、スイッチ付近に記名した名板を設けること。なお、取付け位置については本組合と協議すること。

(33) 計器灯、ポンプ室内灯および資機材格納庫灯

シャッターボックス内照明灯は有効に照明できる照明灯（LED灯）を、各室内に必要数設け、点灯および消灯を扉の開閉と連動する構造とするとともに、メインスイッチをキャブ艀装関係スイッチで一括して操作できること。なお、各収納庫には開閉スイッチを設け、開閉状況がキャブ内で確認できるよう表示灯（警告灯）を取付けること。（詳細は別途協議。）

(34) 後輪照射灯

左右サイドステップ下部にプロテクター付後輪照射灯（LED灯）を各1個取付け、車幅灯と連動すること。

(35) 車体中央部および後部左右下部にサイドマーカーランプ（黄色）を取付けること。

(36) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。

(37) 各収納庫内に別紙の各付属品を取付けられるよう固定装置を設けること。また、各収納棚には飛び出し防止枠および固定ベルトを設け、必要に応じスノコ板を設置すること。

(38) 扉およびシャッターの合わせ目は十分な水密加工を行い、取手およびロック装置は、機能確実な金具とすること。

(39) 床、ステップ等で水の溜る恐れのある場所には、排水穴等の排水措置を講ずること。

(40) リヤオーバーハング部の最低地上高は可能な限り高い構造とすること。また、後部ステップ等の構造も同様とする。

第4章 消防ポンプの艀装

1 ポンプ仕様

ポンプの艀装は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）の規定に適合すること。

(1) 型式：一段ポリュート式ポンプまたは高圧二段バランスタービン式ポンプとする。

(2) 性能：動力消防ポンプ規格A—2級以上とする。なお、軽量化のためポンプケースはアルミ製とする。

- ・送水圧力 0. 8 5MPaにおいて、放水量 2, 0 0 0 L/min以上

- ・送水圧力 1. 4 0MPaにおいて、放水量 1, 4 0 0 L/min以上

- (3) ポンプの積載位置は車両重量配分を十分考慮して、振動によって緩まないようにシャシフレームに確実に取付け、特にエンジンの振動等に影響されないように留意すること。

2 主ポンプ動力伝達装置

- (1) 主ポンプ動力伝達装置は、フルパワー（フライホイール）PTOを装着し、電磁クラッチ式により動力の接・断を行い、操作は運転席に設けたレバー若しくはボタンにより行うものとする。
- (2) キャブ外部でもPTOを操作できる装置を、ポンプ室の側板に取付けること。
- (3) グランド部は不凍液等を必要としない完全メンテナンスフリーメカニカルシールとし、作動油、グレーチングオイル等の使用および継ぎ足しも不要な構造とすること。なお、軸先端部もグリスレスのこと。
- (4) 給油措置が必要ない構造の場合は、本組合と協議し装備しないことができる。

3 冷却水配管

- (1) ギヤケース、補助クーラーへの配管は一系統にまとめ、1個のコックで調整できること。
- (2) 予備回路を設け、主および予備それぞれストレーナーを備えるものとする。
- (3) タンク水を有効に利用し冷却水を車外に排出しないように水槽へ戻す装置（冷却水環流装置）を設けること。また自然水利を揚水した場合、水槽へゴミが浸入しないようコック操作により外部に排出できる構造とする。

4 真空形成装置

- (1) 真空ポンプはピストン式真空ポンプまたは、無給油式偏心翼型ロータリーポンプとする。なお、偏心翼型ロータリーポンプを採用する場合は、凍結に耐えうる構造とすること。
- (2) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。なお、非常用の別系統スイッチを車両右側に設けるものとする。
- (3) 真空形成作動は破損防止の為、自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とし、回転が高い場合には自動的にエンジン回転を低下させた後、適正回転まで上昇する構造とする。
- (4) 真空性能は吸管外端閉鎖にて30秒以内に大気圧の84%とする。

5 安全機能付ポンプ操作装置

- (1) ポンプの操作は1箇所各装置を制御できるようポンプ室両側板部に圧力計・連成計・ポンプスロットル・真空ポンプ操作・多目的表示液晶ディスプレイを一体型にした操作盤にて行えるものとする。
- (2) 真空ポンプ操作は揚水操作にかかる真空ポンプの作動、停止および回転数の制御を自動的に行えるものとする。また、点検を容易にするため真空テスト機能を設け、30秒のテスト後、漏気の有無を多目的液晶表示ディスプレイ内に表示すること。
- (3) 圧力計および連成計（リタード式）は、視認性を良くするため直径100mmとし、夜間でも反射しない透過光照明灯付とする。
- (4) ポンプスロットルは電子制御による精度の高いものとし、誤操作防止の為車両左右とも右回転で上昇、左回転で下降とする。開度は多目的表示液晶ディスプレイ内に表示すること。

(5) 多目的表示ディスプレイの詳細は以下のとおりとする。

- ① 吐水口・中継口・吸水口・バイパスの開閉状況、真空・揚水・放水の状況が確認できること。
- ② 冷却水および真空ポンプ作動タイムに対する警告表示ができ、かつ警報音を鳴らすこと。
- ③ ポンプ圧力計・連成計・ポンプ回転計・流量計・流量積算計・ポンプ運転時間をデジタル数値により表示できること。
- ④ 現場で取扱いおよび故障の原因がすぐに調査できるよう、機器取説、点検整備、故障対策を文章等で表示できること。表示はディスプレイ内のスイッチにより切り替えが行えるもの。
- ⑤ ポンプを操作する者の負担を軽減するため、自動調圧装置を設けるものとする。なお、自動調圧機能の解除については、スロットル操作を行った場合、自動的に解除される構造とするとともに、別に手動操作（ワンタッチ）にて解除も可能な構造とすること。
- ⑥ 多目的液晶表示ディスプレイには結露防止対策を施すこと。

6 吸水管等

- (1) 吸水口は75mmボールcock（ストレーナー付）をポンプ室両側に埋込式にて各1個設け、75mm×10mの吸管（AC製スィベルエルボ付）を常時接続する構造とする。（連続呼水装置付）なお、左右の吸管はダブルスィベル機能を備え、車両に対し直角への振り出しが可能なものとする。レバーは左右とも前方向で開とする。
- (2) 放水口は65mmボールcock付とし、ポンプ室両側に各2個設け、MCスィベル放口媒介を取付けること。なお左右前方各1口については前述の圧縮空気泡消火装置の放水口と兼用とすること。レバーは左右とも前方向で開とする。
- (3) 中継吸水口は65mmボールcock付（ストレーナー有）とし、ポンプ室両側に各1個設け、差込みメス媒介を取付けること。レバーは左右とも前方向で開とする。

7 エジェクター装置

- (1) 配管の取付け位置は、吸水口ボールcock両端の上側とすること。
- (2) 配管はボールcock外側上方から通水表示器、エジェクターバルブ、ボールcock内側上方の順に配管すること。
- (3) 通水表示器は透明ボールとし、容易に取り外して清掃できること。

8 凍結防止装置

- (1) ポンプ室下部にアンダーカバーを設けること。
- (2) 放水cock、吸水cock、中継cockおよびポンプ等の凍結防止のため不凍液注入装置を設けること。
- (3) 外部AC100Vとコンセントマグネット式コードで接続できる水タンクヒーター装置（温度センサー付き300W程度）およびタンク吸水配管にテープヒーターを設けること。

9 水槽

- (1) 水槽はポンプ室後部に設け容量は1,500L以上とし、角型鋼板製水槽（ステンレス製）とする。内面は防錆・防蝕加工を施し、必要に応じて有効な防波板を設け、取付けボルトおよびナットはステン

レス製とする。また、清掃や塗替え等に便利な構造とし、上部には水槽内部への出入りができるマンホールを設け、蓋は防錆、軽量化を考慮し、FRP製とすること。

- (2) 振動や衝撃等により損傷や緩み等を生じないように、車台に固定して設けるとともに、水压に対して変形および水漏れのない構造のものであること。
- (3) オーバーフローパイプ、排水用ドレンパイプおよび補給口を設けること。補給口は消防用ホースによる給水を可能にするため、後輪フェンダー部奥側に備え、65mm差込式メス金具（アルミ製）とチェーン付キャップ（アルミ製）を設けること。また、補給口にはボールコックを設け、送水を容易に遮断できる構造とすること。
- (4) 水槽とポンプ給水側との間に75mmボールコックを設け、継手を介して配管すること。
- (5) ポンプ室両側面に水量計（LED照明付）を設け、水量計内には水量を容易に確認するための目盛りおよび赤い浮きを入れるとともに、電気水量計を取付け、デジタル式または液晶モニターで確認できるものであること。構造は、水抜きや清掃のしやすいものであること。

10 原液槽

- (1) 原液槽は水槽とポンプ室の間に設け、容量500L、原液槽とする。
- (2) 原液槽は2区分とし原液吸液口および真空弁、ドレン、液量計等を設けること。液量計は原液による曇り防止のため、容易に洗浄できる構造とすること。液量計は可能であれば、ポンプ操作盤にも液量表示すること。
- (3) マンホールの蓋は、防錆、軽量化を考慮しFRP製とすること。
- (4) 収納スペースを確保するため、原液吸液バルブ、液量計、液量計元バルブ、ドレンバルブをポンプ操作室に設けること。
- (5) 原液槽の1槽を、水槽と連結できるようにすること。

11 混合方式（ポンププロポーション方式）

- (1) ポンプの放水側と給水側との配管にバルブおよび遠隔操作型ポンププロポーションを設けること。また、ポンププロポーションのメタルリングバルブと原液槽を結ぶ配管にもバルブを設けること。
- (2) 原液専用配管の材質はステンレス鋼管を用い、バルブ類は砲金（CAC）製とすること。常時接液バルブはステンレス製とすること。
- (3) 混合比はメタルリングバルブより調節できるものとし、混合液量範囲は500L/min～1,200L/minとすること。（3%、6%併用）
- (4) 収納スペースを確保するため混合調整ダイヤル、ポンプロ送水バルブ、洗浄バルブはポンプ操作室に設けること。

12 圧縮空気泡消火装置

- (1) 水と消火薬剤を混合させコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で泡状にして発泡できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火が出来るものとする。2線同時に放水しても十分な吐出量が得られ、0.3Mpa以下に減圧しても泡放水ができるものとする。また、混合水（水と消火薬剤）の放水も可能とすること。

- (2) 混合比率は濃度調整が可能なものであること。
- (3) 湿式泡と乾式泡の切り替え操作は、放水中でも可能なこととする。また、管そうは湿式泡と乾式泡の2種類の泡が吐出可能であること。
- (4) 操作については、車両両側面のポンプ操作部付近で液晶モニターにより容易に操作可能なものとする。また、泡の吐出量が確認できるよう泡流量計を設けること。
- (5) 放水口は、左右各1個の放水口を設け、泡および水の放水を兼用できるものとする。また、ロック操作等により容易に泡放射と水放水の切り替えが可能であること。
- (6) 泡放水後は、配管等に残存する泡原液および泡混合液を洗浄できる構造とすること。
- (7) 圧縮空気泡消火装置は、全てポンプ室内に収納し、後部シャッターやボックス内スペースが縮小されることなく資機材等を搭載できること。
- (8) 前記のほか詳細については、本組合と協議し決定すること。

13 放水銃

- (1) 車体上部に放水銃を1基設け、伸縮パイプ(450mm)を取付けすること。また、取り外し可能とし、地面に置いて放水できる仕様とする。
- (2) 放水銃までの配管は65mmとし、65mmボールコックを介して配管すること。
- (3) 放水銃の先端にはノズルを取付けすること。
- (4) 泡放水も可能にするため泡ノズルアタッチメントを取付けすること。

14 自衛噴霧装置

- (1) 噴霧口は、車体両側の効果的な位置に、それぞれ3口以上設けること。
- (2) 操作は左右別々の2系統とし、それぞれ別に操作できるものとする。

第5章 塗装および記入文字

1 塗装、メッキ、研磨等

(1) 車体

塗装面は錆止めを施し油類の清掃洗浄を完全に行い乾燥を十分に行った後に塗装し、長期変色、剥離、亀裂等が生じないようにすること。また、車両下部に位置する収納庫の扉や可倒式ステップ等の隙間等清掃が困難な部位からの錆の発生が顕著なことから、該当部分に対して十分な錆発生の対策を講じること。

(2) 塗装

- ① 車体塗装は消防朱色とし、良質のウレタン樹脂塗装を3回以上行うこと。詳細については、別途指示する。
- ② ポンプ操作ボックス内塗装はシルバー、収納庫シャッターについては消防朱色とし、その他のボ

ックス内は本組合と協議すること。

- ③ ポンプ室天井、水槽上面、水槽後部の器具収納箱天井は、アルミ縞板製とすること。ポンプ室、ポンプ配管、ボックス内およびボディー内部は、シルバーメタリック塗装とし、アンダーコーティング処理を施すこと。
- ④ アルミ縞板使用部は無塗装とすること。
- ⑤ キャブ内はシャシ標準とすること。
- ⑥ フロント他、左右側板にポリウエア塗装を施すこと。詳細については別途指示する。

(3) メッキ・研磨等

- ① 砲金製のものは、全てクロムメッキを施すこと。
- ② ステンレス部分を除き、メッキを必要とするものは受注者の標準仕上げとするが、長期変色、剥離、亀裂等が生じないように加工すること。

(4) 納入後5年以内に塗装部分の剥離、亀裂等が生じた場合は、再塗装すること。

2 車両記入文字およびマーク

(1) キャブ左右後部ドア上部

- ① 記入文字 「湖北地域消防本部」
- ② 書体 丸ゴシック体
- ③ 文字方向 左書き（左から書き出し）
- ④ 文字色 反射白文字
- ⑤ 文字サイズ 別途指示する。

(2) 車体左右側板部

- ① 記入文字 「特別消火隊」
- ② 書体 丸ゴシック体
- ③ 文字方向 左書き（左から書き出し）
- ④ 文字色 反射白文字
- ⑤ 文字サイズ 別途指示する。

(3) 車両名の記入

- ① 記入文字 「長浜C」
- ② 書体 丸ゴシック体
- ③ 文字方向 左書き（左から書き出し）
- ④ 文字色 反射白文字
- ⑤ サイズ 別途指示する。
- ⑥ 位置等 記入必要数を別途指示する。

(4) 標識灯

- ① 記入文字 「長浜消防署」

- ② 書体 丸ゴシック体
- ③ 文字方向 左書き（左から書き出し）
- ④ 文字色 別途指示する。

(5) 左右シャッター部

- ① 「KOHOKU AREA FD SHIGA」の記入。（詳細は別途指示する。）
- ② 「湖北地域消防本部エンブレム」の記入（詳細は別途指示する。）
- ③ 「特別消火隊」の記入（詳細は別途指示する。）

(6) 後部収納庫シャッター部

「湖北地域消防本部」、「滋賀」および「特別消火隊」を記入。（詳細は別途指示する。）

(7) 県名の記入

- ① 記入文字 「滋賀県」
- ② 書体 丸ゴシック体
- ③ 文字色 反射白文字
- ④ 文字サイズ 別途指示する。
- ⑤ 位置等 記入必要数を別途指示する。

(8) 車両側面のライン

- ① ブルーの二重ラインを車両側面および後面に貼り付けること。（詳細は別途指示する。）
- ② ブルーの二重ラインは再帰性反射シールとする。なお、シールの材質により側面シャッターへの貼り付けが困難である場合は後面のみ反射シールとする。

(9) キャブ上部

- ① 対空表示 「滋賀 湖北消防」
- ② 書体 丸ゴシック体
- ③ 文字方向 左書き
- ④ 文字色 黒色
- ⑤ 文字サイズ 別途指示する。

第6章 AVM装置および無線装置

1 AVM装置および無線装置

- (1) AVM装置および車載固定無線機は、本組合が別に委託する業者が設置するものとし、必要に応じて設置業者と打合せを行い、機装段階において配線等の事前設置を行うこと。
- (2) AVM装置および車載固定無線機は既存車両からの移設とし、既存車両からの取外しおよび本車両への取付けにかかる一切の工事を行うものとする。なお、指示する機材については新品交換および追加すること。
- (3) 無線機操作部およびAVM装置本体はセンターコンソールボックスに体裁よく取付けること。また、

本体および車内スピーカー（新品）はキャビン内に体裁よく取付けること。

- (4) AVM集線部（ボックス）および無線機集線部（ボックス）は後部座席下収納スペース等キャブ内スペースを有効活用し消防活動に支障のない位置に体裁よく取付けること。
- (5) 無線機車外送受話器およびAVM端末装置を別に設けた外部ボックスに収納し、左右に各1個取付けること。また、車外用スピーカー（新品）を車体左右に無線機車外送受話器等ボックス付近に車外用スピーカーを取付け、車外用スピーカーの切替スイッチをキャビン内に取付けること。
- (6) 無線機用アンテナをキャビン上部の電波障害にならない位置に取付けるものとし、長期使用時に雨水等が浸入しない防水処理を施すものとする。

第7章 その他

- 1 シヤシ、取付け品および積載する付属品等の品名、数量については別表のとおりとし、全て新品で新規製品とする。なお、本仕様書で指定する装備品および積載品については、本組合担当者と協議した上で、同等品とすることができる。
- 2 本仕様書に定めのない事項についても、業者の公表した仕様、機能上若しくは製作上当然必要とされることについては、良心的に対処し施工するものとする。
- 3 消防用車両の安全基準への適合の検証および納車講習等の技術指導にかかる諸経費は、契約金額に含むものとする。

別表

1 車両

番号	品 名	内 容	個数
1	シヤシ	ダブルキャブオーバー型四輪駆動方式 消防車専用シヤシ（5.5 t級シヤシ増トン仕様）	1
2	付属品	スペアキー	3
		三角停止板（標準品）	1
		車両用工具（専用収納箱付）	一式
		ブースターケーブル（5 m）収納袋付き	一式
		マッドガード（樹脂製）全輪	4
		サイドバイザー（ステンレス製）	4
		フロアマット（標準品）	一式
		ナンバーフレーム（ステンレス製）	2
		オイルジャッキ（標準品）	一式
		非常用信号灯	1
		予備ヒューズ	一式

2 艀装

番号	品 名	内 容	個数
1	キャブ艀装	ハイルーフキャブ、散光式赤色警光灯 サイレンスピーカー一体式 センターコンソールボックス	一式
2	車体艀装	オールシャッター（7箇所） アルミ製縞板収納ボックス等	一式
3	赤色点滅灯	LED前2、後2（保護枠付き）、左右各2	8個
4	消防ポンプ艀装	A-2級ポンプ・自動揚水装置付	一式
5	水槽艀装	1, 500L	一式
6	原液槽	500L	一式
7	塗装および記入文字一式	湖北消防標準デザイン	一式

3 取付け品および取付け装置

番号	品 名	内 容	個数
1	ポンプ圧力計	ポンプ室左右各1個	2個
2	ポンプ連成計	ポンプ室左右各1個	2個
3	エンジン回転計	運転席（シャシ固有のもの）	1個
4	エンジン油温計	運転席（シャシ固有のもの）	1個
5	赤色警光灯	LEDフラッシュ内蔵（ハイルーフ埋め込み型）	一式
6	電子サイレンアンプ	赤色警光灯連動、消防広報用メッセージ付 音声合成機能付（大阪サイレン）	一式
7	照明灯	LED照明（リモコン・ラジコン式） ナイトスキャンチーフ（90W×4灯）	一式
8	後退警報機	音声合成機能	一式
9	標識灯	黄色（ハイルーフ左右埋込み 文字記入）	一式

4 軽微な変更として備えることができる取付け品および取付け装置

番号	品 名	内 容	個数
1	GPSナビゲーションシステム	USBジャック付・バックアイカメラ機能付	一式
2	バックアイカメラ	カーナビ連動	一式
3	電動サイレン（モーターサイレン）	赤色警光灯内蔵 プッシュ式（10連スイッチ等含む）	一式
4	ポンプ回転計	デジタル式または液晶モニター （真空・揚水表示ディスプレイに表示）	2個
5	流量計	デジタル式または液晶モニター （真空・揚水表示ディスプレイに表示）	4個

6	積算流量計	デジタル式または液晶タッチパネルモニター (真空・揚水表示ディスプレイに表示)	2個
7	キャブチルト装置	電動油圧式	一式
8	オイルパンヒーター	20mケーブル、マグネット式メタルコンセント付	一式
9	水タンクヒーター	20mケーブル、マグネット式メタルコンセント付	一式
10	ポンプアンダーカバー		一式
11	不凍液注入装置	専用品	一式
12	スタッドレスタイヤ	車体装着分(6)スペアタイヤ(後輪用1) アルミホイール付き	7本
13	作業灯(LED)	車体側面上部左右各3(バータイプ)、車体後部2	8個
14	反射材		一式
15	自衛噴霧装置	噴霧口を車体両側に各3口以上設置	一式
16	圧縮空気泡消火装置	圧縮空気泡消火装置一式	一式

5 備えなければならない積載品および付属品

番号	品 名	内 容	個数
1	吸管	軽量 75mm×10m AC金具 LF-RS	2本
2	吸口ストレーナー	プラスチック製 75mm	2個
3	吸管ストレーナー	プラスチック製 75mm	2個
4	吸管ちりよけ籠	ポリカゴ 樹脂製	2個
5	吸管枕木	ゴム製	2個
6	吸管ロープ	径10mm×15m	2本
7	消火栓金具(蛍光色)	75mmネジメス×65mm 差込メス	1個
8	消火栓開閉金具(蛍光色)	地上式・地下式(バール式)各1 取付け	一式
9	吸管スパナ	左右各1丁 取付け	2丁
10	管そう65mm	無反動ノズル	2本
11	ストレートノズル65mm	20mm、26mm	2個
12	可変噴霧ノズル65mm	ダブコンマークⅡノズル	2個
13	放口媒介金具	AN-65MCマルチコネクター	4個
14	発泡筒先	400型	2個
15	とび口	樹脂製1.8m 車体上部 取付け	2本
16	金てこ	長さ 850mm 取付け	1丁
17	剣先スコップ	標準品 取付け	1丁
18	車輪止	ゴム製 取付け	4個
19	消火器	ABC20型 取付け	2本
20	ポンプ工具	冷却水ストレーナーキャップ用スパナ	1丁
21	65mmホース	65mm 耐圧1.6MPa 白	10本

22	照明器具	マキタ 充電式スタンドライト ML004G バッテリー2個、充電器、専用ライトスタンド 附属 コードリール 30m (防雨、防塵、漏電遮断) 発電機 EU9I-JN1	一式
----	------	--	----

6 軽微な変更として備えることができる付属品

番号	品名	内 容	個数
1	タイヤチェーン	ケーブルチェーン	一式
2	分岐管	マルチ型 (MC式)	1 個
3	ホースブリッジ	2 個 1 組 (ゴム製)	一式
4	ワイヤ	12mm×5m	1 本
5	斧	ジャコフ CA60 取付け	1 本
6	スタンドパイプ	双口バルブ付 715mm PS-65DV (取付け)	1 本

7 空気呼吸器関係

番号	品名	内 容	個数
1	空気呼吸器	プレッシャードマンド型空気呼吸器 ※別途指示 (エアウォーター防災製 ライフセム A1-12-CX 型 面体保護付)	5 基
2	空気呼吸器用ポンペ (予備含む)	エアウォーター防災製ライフセム空気呼吸器用 ※別途指示 CFRPポンペ530CII型 (4.7L 29.4MPa) カバー付	10 本
3	空気呼吸器取付け装置	クイックホルダー ワンタッチアダプター付 (助手席はシャシに含む)	4 基

8 その他の資機材

番号	品名	内 容	個数
1	ETC車載器	セットアップ諸費用含む	一式
2	ドライブレコーダー	予備記憶媒体2枚を含む	一式
3	室内灯	LED灯	必要数
4	中継用媒介金具	65mmネジメス×65mm差込メス	2 個
5	地図ボックス	A3以上	一式
6	携帯用投光器	防水・防爆型 (LED) 取付け	2 個
7	拡声器	防水高性能小型軽量 (ノボル電気TD503R)	1 器
8	S字フック	中央手摺に取付け	8 個
9	安全ベスト	メッシュベスト黄色背文字入り (本組合打合せ)	1 着
10	インバータ	1,500W以上 (取付け含む)	一式
11	バッテリー管理器		一式

1 2	媒介金具	差込式メス・メス媒介取付け 差込式オス・オス媒介取付け	各 1 個
1 3	異型媒介金具	6 5mm×5 0mm 取付け	2 個
1 4	特殊ノズル	スーパーピアシングノズル	1 本
1 5	吸管ちりよけ籠	ストカゴ（差込オス媒介、ロープ媒介付）	2 個
1 6	吸管ロープ	1 0mm×1 5 m（ストカゴ用）	2 本
1 7	開閉金具一式	貯水槽、グレーチング、バール	一式
1 8	ホースカー（電動油圧昇降装置）	加納式（ホース 8 本用）	一式
1 9	ホースバック	6 5mm 2 本用	4 個
2 0	ホースバック 横型	6 5mm・5 0mm兼用（2 本用）	4 個
2 1	ホース	5 0mm 1. 6 MPa	2 0 本
2 2	ホースバンド	ホースバンデージ	4 個
2 3	はしご（手動はしご昇降装置）	ステンレス製 三連はしご 8. 7 m （掛け金確認安全装置付）	一式
2 4	手動はしご昇降装置	三連はしご、とび口取付け	一式
2 5	熱画像直視装置	FLIR K2	一式
2 6	気密形化学防護服	ドレーゲル社製 CPS 7800	1 着
2 7	カラーコーン	伸縮式	5 個
2 8	カラビナ	ステンレス 0 型× 5	5 枚
2 9	ロープバック	東消 5 0 型× 2 個	2 個
3 0	ガソリン携行缶	コンビカン（ガソリン・混合油）	1 個
3 1	ボルトクリッパー	絶縁ボルトクリッパー 取付け	1 個
3 2	掛矢	木製 取付け	1 本
3 3	ハンマー	DS 1 0	1 個
3 4	R Vボックス	特大サイズ	2 個
3 5	携帯警報器	MSA 製 K-T-R	5 個
3 6	A 火災用泡消火薬剤	2 0 L	5 缶
3 7	B 火災用泡消火薬剤	2 0 L	1 5 缶
3 8	無線装置・AVM 移設	移設取付け	一式
3 9	車外無線送受話器取出口	左右ポンプ室	一式

※ 別表の資機材等において、同等以上の性能を有する品と主張する場合は、性能資料を提出し本組合の承認を得ること。

※ 資機材等（移設資機材含む。）の取付け位置および取付けの配列については本組合と協議すること。
また、資機材等の落下危険がある場合は、落下防止措置を講ずること。